



令和5年11月29日

各 位

会社名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西永 裕司
(コード番号 2533 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
田中 直子(TEL 03-6757-4584)

株式給付信託 (BBT) への追加拠出に伴う
第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当による自己株式の処分(以下「本自己株式処分」といいます。)を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 処分の概要

(1) 処 分 期 日	令和5(2023)年12月14日(木)
(2) 処分する株式の種類および数	普通株式 234,600 株
(3) 処 分 価 額	1株につき金 375 円
(4) 処 分 総 額	87,975,000 円
(5) 処 分 予 定 先	株式会社日本カストディ銀行(信託E口)
(6) そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的および理由

当社は、平成29(2017)年3月23日開催の第110回定時株主総会の決議に基づき、「株式給付信託(BBT)」(以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託を「本信託」といいます。)を導入し、令和3(2021)年3月23日開催の第114回定時株主総会において、本制度に係る報酬枠を改めて設定しております(本制度の概要につきましては、平成29(2017)年2月24日付「業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ」をご参照下さい。)

今般、当社は、本制度の継続に当たり、将来の給付に必要と見込まれる株式を本信託が取得するため、本信託に対する金銭の追加拠出(以下「追加信託」といいます。)を行うこと、ならびに本制度の運営に当たって当社株式の保有および処分を行うため株式会社日本カストディ銀行(本信託の受託者たるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた再信託受託者)に設定されている信託E口に対し、第三者割当により自己株式を処分すること(本自己株式処分)を決定いたしました。

処分数量については、「役員株式給付規程」に基づき信託期間中に当社の取締役に給付すると見込まれる株式数に相当するもの(令和5(2023)年12月末日で終了する事業年度から令和8(2026)年12月末日で終了する事業年度までの4事業年度分)であり、令和5(2023)年6月30日現在の発行済株式総数 65,586,196 株に対し 0.36%(令和5(2023)年6月30日現在の総議決権個数 586,304 個に対する割合 0.40%(いずれも小数点第3位を四捨五入))となります。

※追加信託の概要

追加信託日 令和5（2023）年12月14日
追加信託金額 87,975,000円
取得する株式の種類 当社普通株式
取得株式数 234,600株
株式の取得日 令和5（2023）年12月14日
株式取得方法 当社の自己株式処分（本自己株式処分）を引き受ける方法により取得

3. 処分価額の算定根拠およびその具体的内容

処分価額につきましては、本自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日の東京証券取引所における当社普通株式の終値375円といたしました。

取締役会決議日の直前営業日の終値としたのは、株式市場における当社の適正な企業価値を表すものであり、合理的と判断したためです。

なお処分価額375円については、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近1か月間の終値平均387円（円未満切捨）に対して96.90%を乗じた額であり、同直近3か月間の終値平均405円（円未満切捨）に対して92.59%を乗じた額であり、さらに同直近6か月間の終値平均381円（円未満切捨）に対して98.43%を乗じた額となっております。上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえ、合理的なものと判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役3名（うち2名は社外監査役）が、特に有利な処分価額には該当せず、適法である旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希釈化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手および株主の意思確認手続は要しません。

以 上